

す・とうぶだより

2020-01月号

イベントの秋!

秋らしく10月11月はイベントが盛りだくさんでした!

はちみつとえごま油、それに手作りほうきやお茶の販売者「ならカテ」として参加しました。

10月下旬、食育フェスタ(ならファミリー)に出店。横で「せんとくん」が踊っていたり、スタンプリー等、賑やかなイベントでした。

11月2日、鹿の舟にて稲刈りイベントの横で、東部の直売所の皆さんと一緒に出店。去年から出店しているイベントで、毎度来ていただく方がいて、うれしい!

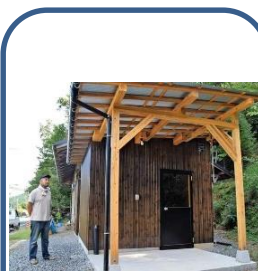
11月16日17日は、はならあと(旧柳生中学校)、田原・阪原・都祁など地域の方々も出店されていて、ちよつとした東部の縮図を見るようで面白かったです。

2月には協力隊全国サミット(東京)。今回は出店の申込をしています。松村隊員と東部地域のアピールに行きます。(加藤)



食育フェスタ
(ならファミリー)

協力隊全国サミット。
出店が決定次第、
協力隊のfacebookで
お知らせします。



古民家を改修した
解体施設

12月2日~3日に、京都府舞鶴市にあるジビエ専門の解体施設を見に行き、そこで狩猟体験もさせていただきました。

初日に何と鹿2頭と猪1頭! そんなに取れる事は滅多にないそうです。

そこから解体施設に実際に行つて、解体を体験させていただきました。

こちらの施設では肉をその日に精肉にするのではなく、何日か冷蔵庫で寝かせてから、精肉に取り掛かるそうです。(これを熟成と呼ぶそうです。)

また、くくり罠の仕掛け方を教えていただきました。

解体施設の作り方や借りている農地の守り方等、色々お話を聞くことができ、獣害対策の難しさや厳しさ・やりがいを知ることができ、とても貴重な体験となりました。(青野)

民泊活用の研修に参加。

12月2日から4日の3日間、「民泊を活用したまちづくり」の研修に行ってきました。

自治体職員・地方議会議員・地域おこし協力隊員など全国から12名が参加しました。

昭和↓平成↓令和の観光政策の変遷、観光が地域振興につながった時代と方法、失敗事例等から、地域主導型の持続可能な観光振興への変化、インバウンドの急増による「民泊」への注目、など多岐に渡つて内容の濃い講義がたくさんありました。

後半のグループ演習では、事前アンケートに基づき、各地の事例を共有し、その中から一つを選んで、今後のまちづくりの進め方について討議しました。

私のグループでは具体的に民泊事業を開始している自治体がないなかつたので、奈良市「さとやま民泊」について、今後のまちづくりにつながる事業の進め方について皆さんと討議し、多くのヒントを頂くことができました。今後の「さとやま民泊」に活かしたいと思います。(松村)

解体施設見学!